

阿見中部地区都市再生整備計画

事後評価結果の概要

◎事後評価について

完了した事業と整備中の事業の概要、およびその事業効果をご紹介します。

この度、事業終了に際し、交付金を活用したまちづくりの事後評価を実施し、まちづくりの成果や今後のまちづくり方針などを事後評価シートにとりまとめました。

本概要は、その事後評価結果の主な内容をまとめています。

◎阿見中部地区のまちづくりの概要

区域面積：1,437ha

事業期間：平成26年度～平成30年度（5か年）

事業費：1,275百万円

基幹事業：1,036百万円 提案事業：239百万円

関連事業：3,043百万円

【まちづくりの目標】

大目標：町民の暮らしを支える安全で安心なまちづくり

目標 1

安全で、だれもが安心して快適に暮らせるよう、生活環境の形成を図る

目標 2

災害に強い都市環境の形成を図る

整備方針

- 日常生活をおくる上で必要な基盤整備を行い、安全な地域づくりとゆとりある住民生活の向上
- 公民館や町民体育館等の公共施設の耐震化を図り、地震対策を強化
- 消防活動等に支障が出るような狭隘な道路を整備し、安心・安全な生活環境を確保

事業の実施

事業の実施

事業の実施

事業効果(1)

安心・安全な生活環境の確保

事業効果(2)

狭隘道路の解消による安全性の向上

事業効果(3)

公共建築物の耐震化による災害対策

事業結果

事業結果

事業結果

生活道路やLED防犯灯などの整備により安心・安全な住環境が形成された

狭隘道路の解消や公共施設の耐震化により災害に強いまちづくりが進んだ

【主な実施事業】

1. 基幹事業

■生活道路の拡幅整備（改築）① ② ③

住宅地内の狭隘で舗装の傷んだ生活道路（町道）の幅員を4mに拡げ、舗装する道路改築を実施しました。道路排水が必要な箇所には蓋付き排水溝（車両通行可能）を設置しました。

①町道 1095 号線他2（荒川本郷） [H26 年度施工]



整備前



道路幅員
整備前 → 整備後
2~3m → 4m
道路延長 230m



整備後

②町道 2126 号線（西郷/阿見） [H26~H27 年度施工]



整備前



道路幅員
整備前 → 整備後
2~3m → 4m
道路延長 100m



整備後

③町道 3196 号線（西方/若栗） [H26~H27 年度施工]



整備前



道路幅員
整備前 → 整備後
2~3m → 4m
道路延長 115m



整備後

※上記の他に用地買収により狭隘道路の幅員を4mに拡げる整備を町道 1103 号線他 1、町道 2064 号線、町道 3009 号線、町道 1098 号線、町道 2313 号線の 6 路線で実施しました。

■生活道路の拡幅整備（改築）と駐車場整備 ④

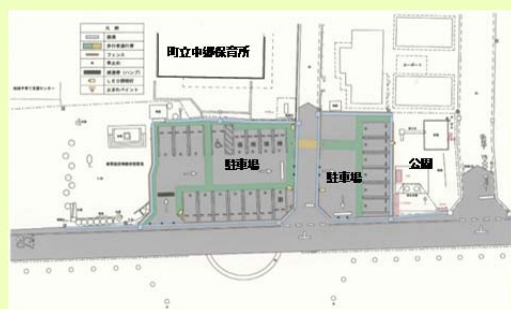
中郷保育所前の駐車場の台数は6～7台と少なく、保護者の送迎時に路上駐車車両であふれる課題があったため、直線道路にして生まれた余剰地と公園の一部を活用した道路改築、同時に駐車場（20台）整備を実施しました。整備に際し「中郷保育所駐車場整備に関する説明会」を実施しました。

町道 2109 号線（阿見） [H26 年度施工]



整備前図面

道路幅員
整備前 4～5m → 整備後 4～5m
道路延長 50m



整備後図面



整備後

■生活道路の拡幅整備（改築）歩道整備 ⑤

歩行者（主に通学児童）の安全確保を目的に、用地買収により歩道部の幅員を拡げる整備や歩道内の段差を解消する道路改築と、防護柵の強度を高める整備を実施しました。

町道 0104 号線（中央） [H28 年度施工]



整備後

道路幅員
整備前 7～8m → 整備後 9m
道路延長 230m

※上記の他に幅員を拡げる整備と歩道整備を町道 2523 号線、町道 4013 号線、町道 3564 号線、町道 3585 号線、町道 3581 号線の 5 路線で実施しました。

■生活道路整備（修繕）⑥

道路両側の土水路の排水機能の不全により安全な通行に支障をきたしていたため、両側側溝と歩行帯（道路外側線）を設け、あわせて舗装を新しくする道路修繕を実施しました。

町道 2310 号線（寺子） [H26～H28 年度施工]



道路幅員
整備前 8～10m → 整備後 8～10m
道路延長 1000m

整備前 整備後

■生活道路整備（修繕）⑦

舗装に傷みが生じ、騒音・振動が発生していたため、庁内で策定した修繕計画をもとに舗装を新しくする道路修繕を実施しました。

町道 0102 号線（実穀） [H29 年度施工]



道路幅員
整備前 6～7m → 整備後 6～7m
道路延長 230m

整備後

■生活道路整備（修繕）⑧

側溝が未整備で、雨水による水溜りが解消しないなどの問題が生じていたため、両側側溝を設置し、あわせて舗装を新しくする道路修繕を実施しました。

町道 1228 号線他 2（下本郷） [H27～H30 年度施工]



道路幅員
整備前 4～5m → 整備後 4～5m
道路延長 740m

整備後

※上記の他に道路修繕を町道 3183 号線、町道 0111 号線、町道 0104 号線、町道 0202 号線、町道 0103 号線、町道 0110 号線、町道 1104 号線、町道 1250 号線、町道 0209 号線、町道 0105 号線の 10 路線で実施しました。

■LED 防犯灯の改修整備 ⑨

蛍光ランプであった防犯灯を撤去し、LED 防犯灯を設置することで安心・安全な生活環境にする防犯灯改修工事を実施しました。

計 1,486 基（1-1 地区 748 基、1-2 地区 738 基）[H26 年度施行]



防犯灯取付箇所



交換後（拡大写真）

■中央公民館（公共建築物）の耐震補強 ⑩

屋上の貯水槽の撤去による建物荷重の軽減や、柱の補強、館内のコンクリートブロック壁の撤去と鉄筋コンクリート壁の設置、天井の落下防止の補強工事と埋込照明への変更など、建物全体の耐震性を強化する耐震補強工事を実施しました。

[H27 年度施工]



整備前



整備後

■本郷小学校体育館（公共建築物）の耐震改修 ⑪

屋内体育場に壁面を補強するブレースの設置と、梁新設などの耐震改修工事を実施しました。

[H26 年度施工]



整備前



整備後

2. 提案事業

■ 町民体育館（公共建築物）の耐震補強 ⑫

鉄骨ブレースの新設および老朽化した鉄骨ブレースの撤去・新設や、屋根を支える箇所（座屈トラス）の補修、コンクリートブロック壁の撤去、屋根まわりの部材（非構造部材）の落下防止措置により建物全体の耐震性を強化する耐震補強工事を実施しました。

[H28 年度施工]



整備前



整備後

■ 西郷地内排水路整備 ⑬

蓋がなく老朽化した排水路（簡易整備）を、コンクリート製の蓋付き排水路に改修する整備を3か年にわたり実施し、あわせて転落防止用のガードレールを設置しました。

[H27～29 年度施工]



整備前



整備後①



整備後②



整備後③

※改修した排水路の詳細：延長 503m、幅 1.6m、深さ 2.0m

3. 関連事業

■防災行政無線施設の整備 ⑭

安心・安全なまちづくりの実現に向け、全町内を網羅したデジタル式の情報系と移動系の防災行政無線を35局（阿見町全体で90局）整備し、運用を開始しました。

[H25～28年度施工]



- ※凡例…
- : 親局・遠隔制御局
 - : 再送信子局
 - : 屋外拡声子局
 - : 指定避難所
 - : 緊急避難場所

出典：防災行政無線システムデジタル情報系・移動系(阿見町)

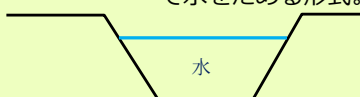
■荒川本郷地区調整池の整備 ⑮

安心・安全なまちづくりの実現に向け、荒川本郷地区における集中豪雨などの水害への対策を含めた防災対策と安全な環境整備として調整池の整備を進めています。

[H16～32年度施工]



形式：掘込式…周りの地盤より低く掘り込んで水をためる形式。



◎事後評価の概要

事後評価の結果は、以下のとおりです。

【事業効果を計測する数値指標の達成状況】

1. 当初指標の結果

計画の中で設定した数値指標の達成状況は、以下のとおりです。

目標達成度	
○	：評価値が目標値を上回った場合
△	：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
×	：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善が見られない場合

指標名	従前値 (年度)	目標値 (年度)	評価値 (年度)	達成度	一年以内 の見込み
指標 1 住宅・住環境に関する満足度	81.1% (H24)	81.1% (H30)	72.1% (H30)	×	なし
指標 2 身近な生活道路に関する満足度	65.1% (H24)	69.3% (H30)	70.0% (H30)	○	—
指標 3 公共施設の耐震化	62.9% (H25)	100% (H30)	100% (H30)	○	—

《 指標 1 住宅・住環境に関する満足度 》

計測対象地区は評価値 72.1%と目標値達成には至らなかったため、達成度は「×」としました。一方で、計測対象区域外で事業を行った「その他地区」は計測対象地区と比べ計測値は 73.1%と向上しており、1 年以内に目標値を達成することはないが、十分に事業地区全体の満足度は高まっていると言えます。

《 指標 2 身近な生活道路に関する満足度 》

生活道路の改築・修繕だけでなく狭隘道路の幅員を 4m に拡げる整備や道路改築と同時に道路の線形変更によって生まれた用地を利用して保育所の駐車場を整備することで路上駐車を排除したこと、通学路における歩道内の段差の解消と幅員を拡げたことなど、道路改築修繕により満足度が高まったことから、達成度は「○」としました。

《 指標 3 公共施設の耐震化 》

計画した阿見中部地区内町有の建築物 27 件すべての耐震改修および耐震補強による新耐震基準への対応が完了し目標を達成したことから、達成度は「○」としました。

2. その他の数値指標の結果

計画の中で設定した数値指標以外に、指標1、2を補完するため、設定しました。
その他数値指標の達成状況は、以下のとおりです。

指標名	従前値 (年度)	評価値 (年度)	達成度
その他の数値指標1 LED 防犯灯による安心・安全な生活環境の向上に関する満足度	58.9% (H25)	78.7% (H30)	効果あり
その他の数値指標2 狭隘道路の解消による安全性の向上に関する満足度	54.7% (H25)	72.4% (H30)	効果あり

《その他の数値指標1 LED 防犯灯による安心・安全な生活環境の向上に関する満足度》
生活道路である町道の改築・修繕にあわせ、通学路を含め夜間の歩行などの安全対策として既存の蛍光ランプ防犯灯を撤去しLED 防犯灯を1,486基設置したことで満足度が向上したことから、達成度は「効果あり」としました。

《その他の数値指標2 狭隘道路の解消による安全性の向上に関する満足度》
日常生活の歩行や通学路などで使う生活道路の改築・修繕を33路線（延長13,935m）整備したことにより道路環境が改善し安全に通行できる道路が増えたことで満足度が向上したことから、達成度は「効果あり」としました。

3. 定性的な評価

- ・指標計測対象地区の評価値は、全ての指標で7割以上と高い満足度を得られました。
- ・指標計測対象外の地区（その他地区）を含めて満足度を計測したところ、評価値を超える高い満足度を得られました。
- ・高い満足度が得られたため、事業は大目標である「町民の暮らしを支える安全で安心なまちづくり」の達成に寄与していると言えます。

【まちの課題の変化】

今回の事業によって、まちの課題がどのように変わってきたのかをまとめています。

- 地区内の生活道路は狭隘な道路などが残されており消防活動などに支障が出ていましたが、整備が急がれる町道の内 18 路線区間を改築、15 路線区間の修繕が完了し、安全で安心して通行できる町道が増えました。
- 防災・防犯に対する関心の高まりに対し、防犯灯の LED 改修工事により町道（生活道路）の明るさが増したことで防犯効果が高まり、町内全体で生活道路の犯罪件数が減少傾向にあります。
- 公共施設の耐震化が急がれていましたが、町有の建築物の耐震化が完了したことで災害時などに安全に利用できる施設となり、安全な地域づくりのための環境が改善されました。
- 集中豪雨などの風水害対策として実施した西郷地内排水路整備により、農地や道路陥没がなくなり、散歩道としての利用や再耕作地となるなど安全性が向上しました。

【今後のまちづくりについて】

今回の事業を踏まえ、今後のまちづくりについてまとめています。

- 今後の生活道路の選定においては、引き続き防犯灯未設置通学路と住民（行政区）からの整備要望箇所の早急な把握と対応にあたる他、通学路や通行者の多い生活道路を安心して歩行できるよう審査会にはかり優先整備路線より事業を推進します。
- 道路や排水路の冠水対策にあたっては、市街化区域を主体に生活道路整備による道路冠水対策と安全な地域づくりに寄与する排水路整備を継続的に実施していく必要があります。